

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和3年5月20日(2021.5.20)

【公開番号】特開2018-197851(P2018-197851A)

【公開日】平成30年12月13日(2018.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2018-048

【出願番号】特願2018-77409(P2018-77409)

【国際特許分類】

G 03 G 15/20 (2006.01)

G 03 G 21/00 (2006.01)

B 65 H 7/06 (2006.01)

G 03 G 15/00 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/20 510

G 03 G 21/00 384

G 03 G 21/00 386

G 03 G 21/00 500

B 65 H 7/06

G 03 G 15/00 480

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月9日(2021.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

前記搬送方向に関し、前記検出器を第1の検出器とし当該第1の検出器による検出位置を第1の検出位置とするとき当該第1の検出位置の次の第2の検出位置にてシートを検出する第2の検出器をさらに有し、

前記第1の長さをL1、前記第2の長さをL2、

前記第1の検出位置から前記第2の検出位置までの距離をLs、

前記第1の速度で回転する前記第1の回転体が前記第1のシートを搬送する場合において、前記第1のシートが前記第2の検出位置に達するべき所定のタイミングから、前記第2の検出器の出力に基づき前記ジャム検知部がジャムの発生を検知したことに応じて前記第1の回転体の回転が停止し終えるまでの間に、前記第1のシートが前記第1の回転体により搬送される距離をL1、

前記第2の速度で回転する前記第1の回転体が前記ニップ部にて前記第2のシートを搬送する場合において、前記第2のシートが前記第2の検出位置に達するべき所定のタイミングから、前記第2の検出器の出力に基づき前記ジャム検知部がジャムの発生を検知したことに応じて前記第1の回転体の回転が停止し終えるまでの間に、前記第2のシートが前記第1の回転体により搬送される距離をL2、

とするとき、前記第1の速度は、 $L_2 < L_s + L_1$ L1の関係を満たす速度であり、前記第2の速度は、 $L_s + L_2 - L_2$ L2の関係を満たす速度であることを特徴とする請求項1乃至5の何れか1項に記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

前記搬送方向に関し、前記検出器を第1の検出器とし当該第1の検出器による検出位置を第1の検出位置とするとき当該第1の検出位置の次の第2の検出位置にてシートを検出する第2の検出器をさらに有し、

前記第1の長さをL1、前記第2の長さをL2、

前記第1の検出位置から前記第2の検出位置までの距離をLs、

前記第1の速度で回転する前記第1の回転体が前記第1のシートを搬送する場合において、前記第1のシートが前記第2の検出位置に達するべき所定のタイミングから、前記第2の検出器の出力に基づき前記ジャム検知部がジャムの発生を検知したことに応じて前記第1の回転体の回転が停止し終えるまでの間に、前記第1のシートが前記第1の回転体により搬送される距離をL1、

前記第2の速度で回転する前記第1の回転体が前記ニップ部にて前記第2のシートを搬送する場合において、前記第2のシートが前記第2の検出位置に達するべき所定のタイミングから、前記第2の検出器の出力に基づき前記ジャム検知部がジャムの発生を検知したことに応じて前記第1の回転体の回転が停止し終えるまでの間に、前記第2のシートが前記第1の回転体により搬送される距離をL2、

とするとき、前記第1の速度は、 $L_2 < L_s + L_1$ L_1 の関係を満たす速度であり、前記第2の速度は、 $L_s + L_2 = L_2$ の関係を満たす速度であることを特徴とする請求項10乃至12の何れか1項に記載の画像形成装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項21

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項21】

前記搬送方向に関し、前記検出器を第1の検出器とし当該第1の検出器による検出位置を第1の検出位置とするとき当該第1の検出位置の次の第2の検出位置にてシートを検出する第2の検出器をさらに有し、

前記第2の長さをL、

前記第1の検出位置から前記第2の検出位置までの距離をLs、

前記第2のシートが前記ニップ部にて搬送される場合に、前記第2のシートが前記第2の検出位置に達するべき所定のタイミングから、前記第2の検出器の出力に基づき前記ジャム検知部がジャムの発生を検知したことに応じて前記第1の回転体の回転が停止するまでの間に、前記第2のシートが前記第1の回転体により搬送される距離をL、

とするとき、前記所定の長さLは、 $L < L_s + L$ を満たす長さLであることを特徴とする請求項15乃至20の何れか1項に記載の画像形成装置。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

入口ガイド46には、センサ支持台47が設けられており、このセンサ支持台47には第1の用紙検出部（第1の検出器（シート検出部）、検出器、シートセンサ：以下、入口センサと記す）S1が設けられている。入口センサS1により用紙Pが検出される検出位置は、搬送方向Zにおいて、ニップ部Nより上流側である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

また、出口ガイド50は定着装置100の内部においてニップ部Nよりも下流部における用紙Pの有無を検知する第2の用紙検知部（第2の検出器（シート検出部）、シートセンサ：以下、出口センサと記す）S2を備える。出口センサS2により用紙Pが検出される検出位置は、搬送方向Zにおいて、ニップ部Nより下流側である。尚、プリンタ1においてニップ部Nより下流側に複数のシートセンサを設ける場合、出口センサS2は、ニップ部Nより下流側に設けられているセンサの中で、最もニップ部Nの出口までの距離が近い検出位置（第2の検出位置）にする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0190

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0190】

1…画像形成装置、2…画像形成部、P…シート、t…トナー像、40…41…回転体対、N…ニップ部、Z…シート搬送方向、S1…S2…第1及び第2の検出器、A1…A2…シート検出位置、24…判定部・制御部